

サーチライトハイク

懐中電灯の明かりを頼りに、ポイントごとに設置された目印を探します。ドキドキ感を味わいながら、グループの連帯感を高めるのにも最適です。



ねらいとして考えられるもの

- ・自然に親しむ。
- ・夜の自然の様子を知る。
- ・協調・協同を通して豊かな人間性の育成

可能な活動場所

所内サーチライトハイクコース

所員の指導	対象	月	人数	所要時間	費用
指導なし	4年生以上	4~11月	5~50人	1時間	無料（コピー10円/枚）

団体が準備するもの

懐中電灯、防寒具、医薬品、
（サーチライトハイク用地図*）*ホームページよりダウンロードできます。

げんきプラザで貸し出せるもの

サーチライトハイク用反射シールつき目印、
（サーチライトハイク用地図 コピー10円/枚）

実施要領

導入

- ① 安全上の注意（下記「留意点」参照）
- ② 実施方法、コース説明

準備

- ① 目印となるフィルムケースの設置。
- ② 危険箇所や、分岐点等に指導者を配置する。
- ③ 持ち物、服装の確認
- ③ 安全上の注意事項・留意事項の説明
(ア) 歩き方（つまづき、転落に注意する）
(イ) 危険な箇所
(ウ) 自然にやさしい活動（ローインパクト）になるように、フィールドマナーに気をつける。
 - ・動植物の採取や損傷はしない。
 - ・ゴミは持ち帰る。
- ④ トイレを済ます。
- ⑤ 人員確認、健康観察。

実施

- ① グループごとに5分程度の時間差を設けて出発するとよい。
- ② コースに設置してある目印を懐中電灯で探しながら、グループで協力しながら、ゴールまで歩く。

まとめ

- ① 人員確認、健康観察。
- ② ふりかえり

活動のまとめ、感想発表など。

留意点

- ① 指導者の方に、目印となるフィルムケースを設置していただきます。
- ② 夜の活動です。下見を必ず実施しましょう。
ルート、目印の場所、危険箇所、危険な動植物、所要時間などを確認しましょう。
- ③ 分岐点やわかりにくい場所には、指導者を配置しましょう。
- ④ 自然にやさしい活動（ローインパクト）になるように、フィールドマナーに気をつけましょう。
 - ・ 動植物の採取や損傷はしない。
 - ・ ゴミは持ち帰る。
- ⑤ 緊急時等の対応を考えましょう。
 - ・ 引率者の役割の確認
 - ・ 緊急時の連絡方法（無線機、トランシーバー貸出し可）
 - ・ 救急薬品等の準備
- ⑥ 荒天時の判断は、参加者の実態等考慮し、団体で決定してください。
- ⑦ 時間を競うゲームではありません。グループで協力しながら安全に歩きましょう。

*1 指導可能時間は 9:15～11:45 13:00～17:00 です。指導希望団体が重なる場合等、ご要望に添えない場合や、団体指導者をお願いすることがあります。

